

まちづくりニュース

第2号 (平成 28 年 10 月)

大泉学園町地区のまちの将来像について



話し合いを進めています！！

光が丘～大泉学園町間の大江戸線の延伸が、国が示した答申（H28.4）で進めるべきプロジェクトの一つに選ばれ、導入空間となる道路（補助 230 号線）の事業も進められています。

大泉学園町地区では、延伸に伴い、新駅や駅前広場も考えられており、今後、都心部へのアクセス利便性が大きく向上します。現在、このような状況を踏まえて、落ち着いた住環境と賑わいのある街並みの調和したまちづくりを、進めて行くことが求められています。

そのため、具体的なまちづくりを検討するにあたり、地域の皆様とまちの将来像について共有したいと考え、まちづくり協議会で話し合いを進めています。



=まちづくり協議会で話し合っていること=

このようなステップを踏みながら、地域の皆様とまちの将来像の共有化を図っていきます。

Step 1

これまでの経緯や、延伸計画などを
知ったうえでまちづくりの検討テ
ーマを確認し合います。

Step 2

駅周辺地区の将来の望
ましい姿について話し
合います。（裏面参照）

現在、ここまで
進みました！！

Step 4

これまでの検討を取りまと
めて、大泉学園町地区のまち
の将来像を共有します。

Step 3

補助 230 号線・学園通り沿
道、住宅地の望ましい姿に
ついて、話し合います。



Step 1 (4月12日：第2回まちづくり協議会)

○国が示した答申の概要と協議会で話し合っていく柱となるテーマや、地域住民等への周知方法、意向把握方法などについて確認しました。

第2回協議会の様子



Step2 (6月21日、8月9日：第3・4回まちづくり協議会)

= 「駅前地区の望ましい姿」について話し合い、イメージの共有化を図りました=

【第3回協議会】(6月21日)

○2つのグループに分かれて「駅前地区の望ましい姿」について、意見を出し合いました。

《出された意見の抜粋》

＜駅前地区のイメージ＞

- ・大泉学園町のブランド性を高めたい。
- ・お洒落な街にしたい。
- ・大泉学園通りの桜を活かしたい。

＜ほしい施設＞

- ・人が集まるお店、品の良いお店、お洒落なお店・飲食店(ビストロ等)、個性的なお店が集まる施設等がほしい。
- ・公共施設、交番、消防出張所が必要である。

＜ほしい環境(駅前広場も含む)＞

- ・イベントスペース、ベンチ・木陰、緑豊かな空間
- ・雨に濡れないで買い物できる環境

＜駅前地区の広がり＞

- ・駅から歩ける距離と考えたい(半径100~150m程度)。
- ・補助230号線北側は難しい(南東側と南西側が現実的)。
- ・商業系市街地を目指すなら、用途地域等の見直しが必要である。



【第4回協議会】(8月9日)

○第3回で出された様々な意見について共有化できる内容や、見落とししていた視点、修正すべき点を確認し合いました。

《共有化されたイメージ(抜粋)》

- ・駅前地区のまちづくりとして、駅前広場の整備を考えていく。
- ・駅前広場の場所は大泉学園通りと補助230号線の交差点付近に造る。
- ・駅前広場の整備は、交通機能だけではなく、地元の人々の生活の質を上げる視点に配慮する。
- ・大泉学園通りを安全に横断できるようにする。



これから、補助230号線沿道や住宅地についての話し合いも行い、今年度内には大泉学園町地区の将来構想を描きだしたいと考えています。

今後、皆様にご意見をお聞きする機会や個別ヒアリングを行うこともありますので、ご協力をお願いします。

大泉学園町地区のまちづくりに関する問合せ先

練馬区都市整備部大江戸線延伸推進課まちづくり担当

【電話】03-5984-1564

【FAX】03-5984-1226

【電子メール】ENSHIN05@city.nerima.tokyo.jp

